

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	319	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業 新クリーンセンターの整備事業	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成29年度 ~		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		3人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	86,238千円		当該(開始)年度	(当初)	74,164千円 (うち人件費 26,400千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	新たな廃棄物処理施設(焼却施設と破碎処理施設)を、循環型社会形成推進基本法に基づき、災害対応拠点機能を高めることを視野に入れ、環境負荷の少ない、効率的で効果的な施設として整備します。			事業目的	新廃棄物処理施設の建設にあたり、既存施設の適正な維持管理を行いながら、我孫子市単独の事業として環境負荷に配慮した整備を行っていく。				
(3) 事業内容	内容	新廃棄物処理施設を現クリーンセンター敷地内に建設するにあたり、28年度から2019年度の継続事業として、環境影響評価を実施するとともに、平成30年度から2019年度の継続事業として、新廃棄物処理施設整備運営事業者の選定支援業務を実施する。			当該年度執行計画	新廃棄物処理施設の整備にあたり、国(環境省)の「循環型社会形成推進交付金」を活用し、事業を進めるとともに、廃棄物基本問題調査会への諮問、地元との協議・調整を図る。 ・環境影響評価(H28年度~H31年度10月頃まで) ・新廃棄物処理施設建設工事に伴う施設整備運営事業者選定支援業務委託(H30年度~2019年度) ・土壌汚染対策工事実施設計業務委託(2019年度中)				
		当該年度活動結果指標	各種計画(環境影響評価、土壌汚染対策工事実施設計など)を実施する。	単位	%	想定値	100		実績値	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	新廃棄物処理施設整備の行程表の進捗率			直接	進捗率	%		10	20	
令和2年度	新廃棄物処理施設整備の行程表の進捗率			直接	進捗率	%			50	
令和3年度	新廃棄物処理施設整備の行程表の進捗率			直接	達成率	%			100	
(7) 事業実施上の課題と対応	既存焼却炉や粗ごみ処理施設等の老朽化が著しく、想定外の修理・補修が必要になっている。新廃棄物処理施設整備計画を進めつつ、既存施設が5年間稼働できるよう大規模な修繕が必要と考える。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		* 環境影響評価(継続費H28~H31)	56,160	* 環境影響評価(継続費H28~H31)	25,920	* 廃棄物基本問題調査会委員報酬	196	* 廃棄物基本問題調査会委員報酬	196	
		* 廃棄物基本問題調査会委員報酬	245	* 廃棄物基本問題調査会委員報酬	196	* 新廃棄物処理施設建設に伴う支障となる既存施設の撤去・移設費	0	* 現焼却施設解体設計	0	
		* 旧溶融施設解体工事に伴う家屋事後調査及び復旧費用算定業務	2,881	* 新廃棄物処理施設建設に伴うアドバイザー業務(継続費H30~H31)	11,448	* 災害廃棄物処理計画策定業務	7,458	* 新クリーンセンター整備事業【継続費】31年~34年(年割額)	7,900,087	
* 新廃棄物処理施設建設に伴う土壌調査業務	39,744	* 新廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会委員報酬	200	* 土壌汚染対策工事	0	* 新廃棄物処理施設建設工事施工監理設定総額(15,800,176千円)	50,000			
* 新廃棄物処理施設建設に伴うアドバイザー業務(継続費H30~H31)	16,848	* 土壌汚染対策工事実施設計業務	10,000	* 新クリーンセンター整備事業【継続費】31年~34年(年割額)	4,740,053	* 新廃棄物処理施設建設工事維持管理【債務負担行為】35年~54年	0			
* 新廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会委員報酬	400	* 新クリーンセンター整備詳細計画作成(H29年度からの繰越明許)	0	* 新廃棄物処理施設運営・維持管理【債務負担行為】35年~54年	0	* 新廃棄物処理施設建設工事維持管理【債務負担行為】35年~54年	0			
* リサイクルセンター整備詳細計画作成(H29年度からの繰越明許)	12,204		0							
予算(決算)額	合計	128,482	合計	47,764	合計	4,747,707	合計	7,950,283		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 33%	37,584	補助率 33%	15,789	補助率 33%	1,592,186	補助率 33%	2,653,643	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	666,100	充当率 90%	4,535,800	
	一般財源		15,098		1,975		5,168		50,196	
その他の財源	□特会 □受益 ■基金 □その他	75,800	□特会 □受益 □基金 ■その他	30,000	□特会 □受益 ■基金 ■その他	2,484,253	□特会 □受益 ■基金 □その他	710,644		
(10) 人件費等	換算人数(人)	2.1		3		2.4		2.4		
	正職員人件費	18,480		26,400		21,120		21,120		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		146,962		74,164		4,768,827		7,971,403		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		4,898.73千円/%		741.64千円/%						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	既存焼却施設の精密機能検査の結果、維持管理(定期補修・修繕)を適正に行えば耐用年数以降も運転可能なことから、既存施設の維持管理を行ないながら、新規焼却施設等の建設に向けて各種計画策定を進めていかなければならない。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	●①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		市民も構成員として参画している、廃棄物基本問題調査会に事業計画を諮問する。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他		環境負荷の低減、CO ₂ の削減に寄与する。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	10	20	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
	49.54								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.01	単位	費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					